

第1回奈良県立病院地方独立行政法人評価委員会 議事要旨

- 1 日時 平成28年7月19日(火)
- 2 場所 やまと会議室 3階大会議室
- 3 出席者 【委員】新川委員長、飯干委員、浮舟委員、平井委員
【病院機構】榊理事長、中川理事 他
【事務局】林部長 他

4 会議要旨 議事

- (1) 平成27年度に係る業務実績に関する評価の検討について
- (2) 平成27年度財務諸表について
事務局(案)に本日の委員意見を踏まえた修正を加え、評価をするという事です承。

【主な意見】

- ・経営改善しないといけないという思いを、機構全体で一つの気持ちを持つ事が大切。今やるべきことについて、考えを一つにまとめるのが大事。
- ・部門別収益、機器別収益等の細かい分析をすべき。
- ・投資に関しては優先順位をつけて、必要かどうかの観点で厳しく見る必要がある。収益の目標の段階で、診療科毎にどうなっているのかの分析が必要。2年続けての赤字なので、そういった部分がきちりできているのか不安。
- ・医師に数値目標だけ言っても拒絶反応を起こす人がいる。医師にもマネジメントの重要性に気づいてもらう必要あり。
- ・新病院が30年春オープン予定であるが、新病院への移転は大変で、短期間で移転する必要がある。今からその準備を進める事が必要。
- ・病院が看護学校を運営するメリットが無くなってきている中で、看護学校を持つ意義を検討し、看護学校との連携をもっと図るなど、看護学校をもっと活用した取組が必要。
- ・財務面では、短期借入金を増額して回している状況。まずは短期借入金の抑制が重要。
- ・新病院ができ、病床が増加する機会に、3病院の病院機能や役割分担の見直しや整理が必要。
- ・現場から現状の課題分析を行い、中期的な目標設定を見直す必要があり、まずはその改善の取組を進める事が大事。次に、今の経営状況について、長期的な改善方針を設計する事が必要。中・長期的な立て直しを進めるためにも、経営状況の数字は毎日見て把握していくべき。

